

# 菊の里地区福まちだより

No.  
**69**

2021年  
9月1日発行

地域ぐるみで、お互いに支え合う環境を整え、だれもが安心して暮らせるまちづくりのために「福祉のまち推進事業」として、地域住民の日常的な支え合い活動、ボランティアによる福祉サービスの推進を事業の基本目標として活動します。



## わくわくポケットについてのお知らせ

運営委員会委員長 向井 正樹 ただき

コロナ感染予防のために行事や各部の活動を休止して早くも1年半を経過しています。今年度こそ、元気なお子様たちの顔を見ることができると準備していましたが、感染力の強い変異型も拡がり始め収束が見えない状況です。「子どもたちの健康と生命を守る」活動方針から、やむを得ず今年12月までの活動を休止させていただきます。

なお、1月からの活動につきましては「菊水元町地区センター」または「白石区・子育て支援センター《ちあふる・白石》」のホームページにてご検索いただければ幸いです。

今後、札幌市のワクチン接種が進むことで、マスクのいらぬ生活が戻り、はれて「わくわくポケット」を再開できるものと期待しています。

令和元年までの活動をもとに、次のような内容を検討し、準備を進めています。

- 自由遊び
- ものづくり遊び
- 幼児体操
- 紙芝居
- 子育て講座
- ゲーム大会
- ミニ運動会
- お楽しみ会



# 23年間のあゆみ

前福祉のまち推進センター運営委員長 宇田 清子

菊の里地区は平成10年(1998年)に北白石地区より分離し、同時に福祉のまち推進センター(通称『福まち』)が開設されました。菊の里地区として出発した当初は「さて、聞き慣れない…何をすれば…?」と戸惑いましたが、先ず、新しい町の名称と「福まち」の活動内容や町内会の活動についても地域の全住民に知っていただくために広報誌「福まちだより」を発行することにいたしました。

この地域に安全・安心に生活していただくために、[見守り](照明が1日中ついたまま・洗濯物が干したまま)、[家族介護者教室](健康フェスタ・講演会など)、[福祉施設の見学]、[高齢者ふくしの相談窓口]、[地域のボランティア活動]、[福まち寄席](桂枝光さんを招いて)、[子育てサロン](月1回)などの支援事業を徐々に整えていきました。支援事業の企画・運営については白石区社会福祉協議会、白石区保健センター、介護予防センター(特別養護老人ホーム平成苑内)、地域包括支援センター、まちづくりセンター、地区センター、地域の小中学校、幼稚園、保育園等の協力をいただいで進めてまいりました。

## 各部・各組織の活動

## 収穫祭の取り組み

## 総務部

菊の里連合町内会(菊水元町南・菊水元町白菊・米里・東米里町内会・菊水元町)主催の収穫祭(開催場所は、菊水元町南町内会館内と駐車場にて)が、コロナ感染拡大防止のため令和2年と令和3年の2年連続中止となりました。収穫祭は、菊の里連合町内会総務部が中心となり、実施しています。

私が担当した収穫祭は、平成29年・平成30年・令和元年で、令和2年は、中止となりました。

毎年10月末実施にあたっては、何ヶ月前から会長・副会長との打ち合わせから始まり、各部長以上の会議、その後、実行委員会を各部と協賛団体、まちづくりセンター等関係者の出席をいただき、2回以上の会議を経て、事前準備等を行って実施しました。収穫祭終了後には反省会を行い来年度の開催の参考にします。

平成29年10月21日(日)10時開催が、初めて担当させていただきましたが、何から手を付けてよいか、わからなく戸惑っていますと、経験の豊富な方々からの指導により、何とか会議までたどり着くことが出来ました。会議の座長も初めてのことで、何を話したか分からないうちに会議が終了しました。(内容は、ボイスレコーダーに録音しました。取りまとめは難しく、経験豊富な役員の方々に助言と指導をいただきました。)収穫祭当日を迎えるにあたり、何ヶ月前からスタッフの方々が事前準備を進め、特に天候に左右されやすい野菜の買い付け、朝採りで、新鮮野菜を販売しました。出店コーナーでは、事前に材料等の調達と調理を行い準備してありました。前日は、野菜の搬入、販売で使用するテントの準備、会館内の床が汚れないようにテントを敷いて養生し、テーブル・椅子を仮配置しました。当日は、全員で手分けをして、販売用テント設営し、会館内の机等の配置コーナーで使用する材料等の搬入、案内に掲示物を貼り、販売を行いました。(例年、屋外での販売担当者は、寒さが厳しく、防寒とカイロ等で寒さ対策をしました。)何ヶ月もかけて、準備をして来ましたが、販売は、2時間ぐらいで完売し終了いたしました。(みなさまに喜ばれ呆気なく終了しました。)終了後テント等を撤収し、会計の集計作業を行いました。会計集計作業は、大変でした。



3年間を振り返ると平成29年は、何も分からないままに終わり、平成30年、令和元年は、若干の余裕が出来ました。この3年間を考えるとスタッフさん全員の力をいただき無事に開催をできました。収穫祭行事に携わったみなさまに、心から感謝申し上げます。

## \*本年12月末までに実施予定のうち中止を決定した事業について\*

地区にお住いの皆様方には日頃から地域活動に何かとご理解とご協力を賜り、事業実施に携わる者として心から感謝を申し上げます。

ところが、昨年度に引き続き今年度もコロナ禍のため、8月末までの事業の殆どは中止を余儀なくされ、皆様のご要望に答えることができませんでした。

特に「七夕のつどい」と「納涼子ども盆踊り大会」は、例年、大勢の子どもさんが集い楽しんでおり、昨年に続いての中止は誠に申し訳なく思います。

しかし、8月は東京五輪・パラリンピック、夏休み、お盆などで大きな人の移動があり、感染力の強い変異ウイルス「デルタ株」の拡大、全国民対象のワクチン接種も途上にあるなど、今後もコロナ感染拡大は予断を許さない状況です。

以上の懸念項目を念頭に、12月末までに実施予定の主たる事業について実施するか否かの検討を行った結果、下記の事業を中止することにいたしました。

各事業に参加される地区の皆様や事業担当のスタッフにコロナ感染のリスクを負わせないためには、止むを得ない対応と判断しましたのでご理解ください。

### 12月末までに実施予定のうち中止を決定した事業

- ①菊の里地区パークゴルフ大会
- ②大型街頭啓発・交通安全の集い
- ③菊の里地区ボーリング大会
- ④収穫祭
- ⑤菊の里地区体育大会(卓球「10月」・テニボン「11月」)
- ⑥まちづくり寄席

## 菊水元町白菊町内会からの近況報告 北24条桜大橋竣工間近

菊水元町白菊町内会 会長 鈴木 實

①工 期… 2013年(平成25年)10月着工→2022年度(令和4年度)内竣工

②橋梁の名称… 「北24条桜大橋」(公募により決定)

③橋梁の規模等… 豊平川に架かる36番目の橋で、延長320mは雁来大橋(638m)、豊水大橋(548m)に次いで3番目に長い

④橋梁の幅員等… 幅22.8mの片側2車線、交通量は1日14,000台見込



橋へつながる道路入り口交差点(菊水元町9条1丁目)



東区へかかる橋

いつの間にか肌心地よい風を感じる季節を迎えましたが、昨年に引き続きコロナ禍に翻弄され、人も経済も疲弊したまま今年も残すところ4ヶ月となりました。菊の里地区にお住いの皆様は如何お過ごしでしょうか。

さて、当町内会区域の一部である菊水元町9条1丁目内に忽然と大きな橋梁が姿を現すなど、これまでは静かな住居地域の様相が一変したことに気づきのことと存じます。この橋梁(別掲写真参照)設置の経緯をお知らせします。

札幌市は、宮の森・北24条通を約1,160m延伸させるため、北1条・雁来通と南7条・米里通を結ぶ道路整備を行うこととし、橋梁は延伸部分の一部となるものです。道路整備の目的は、新設する橋梁の北東約600mの「豊水大橋」(1日の交通量49,000台)と南西約1kmの「環状北大橋」(同46,000台)の渋滞緩和対策であります。概要は上記の通りです。

現在、令和4年度内の竣工を目指し橋梁に道路敷設工事及び橋梁両側面に副道設置と関連事業である道路切り替え工事等が進められております。

# 介護予防センター菊の里です

介護予防センター菊の里は札幌市の委託事業として、高齢者の介護予防を目指す活動をしています。菊の里地域は、特別養護老人ホーム平成苑内で樋口・惣伊田が担当しています。

6月から新しく入りました「そいだゆうこ」です。どうぞ宜しくお願いします!



そいだ

ひぐち

長い長いコロナ禍の中、皆さんいかがお過ごしですか?自粛を制限され、人と会ったり、マスクなしで話すことすらままならないなんて、本当に何て世の中になってしまったのかと思います。

誰とも会わずに、動かない・話さない日が続いて、筋力・認知機能の低下があらわれている方はいませんか? 予防センターではこの厳しい状況下の中でも、できることはないか?と試行錯誤しながら、下記の活動を行っております。

皆さんも小さな事から、何か始めてみませんか?

## にこにこウォーキングスタンプラリー



10月末までの企画です。

下記の5か所へスタンプとカードを設置していますので、ウォーキングして25個スタンプを集めると、ささやかな景品が送られてきます。

どこか一か所でもスタンプを集めてもいいですし、頑張って何か所か回るのも良しです。25個スタンプが集まったら、ご連絡お待ちしております!

## すこやか通信塾



ご希望の方に「運動」「栄養」「健口」「脳活」の中から、取り組んで頂く内容と記録用紙・教材を送付します。

一か月間チャレンジした内容を記録し予防センターへ返送して頂くと、評価・コメントをして再返送します。通信のやりとりを通して、頭と体を動かして、予防センターと繋がってみませんか?



グループホーム凜  
米里3条1丁目2-4

菊の里  
まちづくり  
センター  
菊水元町8条  
1丁目11-1

東米里簡易郵便局  
東米里2124-23

札幌市立菊水小学校  
菊水元町2条3丁目2-14

特別養護老人ホーム  
きくすいの里  
菊水元町4条1丁目1-1

通信塾では運動の冊子や、栄養の資料、脳活、料理のレシピ等も一緒にお送りしています



高齢者の総合相談として健康に関する悩みや不安もお聞きしています

**【お問合せ先】**

**札幌市白石区介護予防センター菊の里**

〒003-0828 札幌市白石区菊水元町8条2丁目7-15 特別養護老人ホーム平成苑内

☎(011)879-6012 (樋口・惣伊田)



**【本誌は赤い羽根共同募金助成金で発行されています】**

菊の里地区福祉のまち推進センター  
菊の里地区まちづくりネットワーク協議会

〒003-0828 白石区菊水元町8条1丁目(菊の里まちづくりセンター内)

☎011-871-2448 / ☎871-2355